

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University

RITSUMEIKAN ASIA PACIFIC UNIVERSITY
立命館アジア太平洋大学



日本(大分県別府市)

SHAPE YOUR WORLD

立命館アジア太平洋大学 (APU) は「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として2000年に開学し、真のグローバルリーダーの育成を目的としてこれまでに無い全く新しい多文化学習環境を築いてきました。そして、開学から17年。これまでに世界130を超える国・地域から集まった学生たちが、国や文化、宗教、政治、価値観等の違いを乗り越え、共に暮らし、世界が直面する課題の解決のために学んでいます。

APUの学びの出発点は「世界」。自分を磨き、世界への変化を作り出す一歩が待っています。

1 SHAPE YOUR WORLD

3 数字で見るAPU

5 APUの教育

7 国際経営学部

9 アジア太平洋学部

11 言語教育

12 講義・科目一覧

13 交換留学

15 課外活動

17 学生生活

21 キャリア教育

23 卒業生の声

25 入学試験ガイド

全てのデータや統計情報は2016年度現在のもの

APU BY THE NUMBERS

5,848 学生数

90 学生の出身国・地域数

交換留学協定校数
46 力国・地域 138 校

91.6% 就職決定率

50.3% 学生に占める
留学生の割合

25 教員の出身国・地域数

88 アドバイザリー・コミッティに
所属する大使の人数

文部科学省より
「スーパーグローバル大学」
に選出(2014年)

140 以上 クラブ・サークル数

138 校友の出身国・地域数

4,116 学生の奨学金
採用件数

日本の大学として3番目の
AACSB 国際認証取得

EDUCATION THAT INSPIRES YOU

世界的にもユニークな教育環境

好奇心、冒険心、活動的、独創的、ひたむきさ…

これらの言葉は、異文化理解やグローバルビジネスの探求、新しい言語の学習、世界中の課題解決などに熱心に取り組むAPUの学生の様子をよく表しています。APUが提供する世界基準の教育とこれらの精神を合わせもつ新世代のグローバルリーダーをめざして、グローバル社会で活躍する上で必要な知恵や経験、人脈をこのユニークな教育環境で獲得してください。

日英二言語で学修分野を横断する先進的カリキュラム

APUのアジア太平洋学部 (APS) と国際経営学部 (APM) では、講義のほとんどを日本語と英語の二言語で開講しているため、日本の大学でありながら世界の学生がともに学ぶことを可能にしています。また、学生個人の将来目標にあわせて一部学部や学修分野を越えての履修ができる等、日々変化する社会に対応できる柔軟なカリキュラムを提供しています。

日本語で学び、英語を身につける

世界での活躍を展望する学生にとって、母語や日本語に加えて英語を習得することは必要不可欠です。そのため、APUでは日本語で専門分野を学ぶとともに英語の習得を目指します。さらに希望者はその他の言語を追加で履修することも可能です (英語基準で入学をした学生は日本語を習得状況にあわせて履修します)。

国際経験豊かな教授陣

数十年に渡り研究者の道を歩んできた教員や国際企業・団体での社会経験を有する教員など、国際社会での豊富な経験を持つ世界25カ国・地域出身の教員により、理論と実践の双方を重視した授業を展開しています。

インタラクティブな授業

APUの授業は知識を詰め込むだけのものでも、教員から教えられるだけのものでもありません。文化や宗教が異なり、これまで歩んできた人生も価値観も異なる学生と教員とが激論を交わす機会を日常的に持つことができる双方向型の授業を通じて、世界が直面する複雑な課題に取り組みます。

学びの場は世界へ

APUの学びは教室での授業や専門書等から知識を得て終わるのではなく、得た知識をキャンパスの外で実践することを重視しています。フィールド・スタディや交換留学、国際会議、学術大会、地域への働きかけやインターンシップへの参加等の実践プログラムを積極的に活用することで、得た知識の専門性を高めます。

学部	学修分野
国際経営学部 (APM) 学士 (経営学)	・会計・ファイナンス ・マーケティング ・経営戦略と組織 ・イノベーション・経済学
アジア太平洋学部 (APS) 学士 (アジア太平洋学)	・環境・開発 ・観光学 ・国際関係 ・文化・社会・メディア

卒業には4年間で124単位を修得する必要があります。また、将来への明確な目標を持つ学生のために、3年または3年半で学士号が取得できる早期卒業制度を用意しています。



COLLEGE と INTERNATIONAL MANAGEMENT [APM]

国際経営学部 (APM)

学士 (経営学)

アジア太平洋地域の多様な政治、経済、社会、文化等を幅広く理解した上で、ビジネスやマネジメントに関する基礎的および専門的知識や能力を育成するためのカリキュラムで、次代の国際ビジネスリーダーに必要なとされるグローバルな視点や問題解決能力を養います。APMでは低回生時に経営学入門やマーケティング入門などの経営に必要な基礎を必修科目として学び、それぞれの専門分野を深めていきます。世界に通用する新世代のビジネスリーダーとなるためにグローバルな視野を広げ、企業倫理や問題解決能力を身に付けます。

APMは世界のトップビジネススクールの国際認証であるAACSB (Association to Advance Collegiate Schools of Business)を取得しているため、世界中の認証大学への交換留学など、国際基準の教育を受けることができます。

APMの学生は、まず経営を担う上での基礎となる知識の習得を行い、自分の興味に従って専門分野を決めていきます。4回生時には企業の役員への企画提案を行うなど、学んできたことを実社会で試すキャップストーンという授業を履修します。さらに、キャンパスや海外の他大学などで開催されるビジネスケースコンペティションへの参加も積極的に行います。

学修分野

会計・ファイナンス

企業の状態はお金の流れや増減によって判断されます。これを会計といい、企業活動に必要な資金の調達方法や運用方法の分野をファイナンスといいます。会計・ファイナンスの国際通用性のある深い知識を学び、専門性を養っていきます。

マーケティング

マーケティングコースではグローバル市場においてモノやサービスを生み出す手法を学びます。何を、どのくらい、いくらで、どのように提供すべきか。その理論や手法を学び、世界で活躍できる視野の広い企業人をめざします。

経営戦略と組織

組織が発展し続けるためには、社会的ニーズに応じた目標の設定と目標達成のために一定の行動原理や方法に従って活動することが必要です。国際企業や家業の成功を志向する方に最適な学修分野です。

イノベーション・経済学

イノベーションと効率的な生産管理は企業発展の原動力です。企業に変革をもたらす要因や多様な生産管理の手法、また経済基盤や企業が発展することでもたらされる社会の経済発展についても学びます。



Kim Rebecca Chunghee教授 (韓国)

学位: 博士 (経営研究) ストラックライド大学

クローズアップ: 企業の社会的責任(CSR)

今日では、ビジネスの目的は単に利益の拡大にはとどまらず、持続性 (サステナビリティ) も考慮に入れる必要があります。なぜなら、サステナビリティは、グローバルコミュニティや環境のみならず、ビジネスの成功にとっても必要不可欠だからです。近年の様々なステークホルダーのサステナビリティに対する認識の高まりは、広く社会に貢献する企業への好意的な注目を集めるだけでなく、求職者からも重要視されています。被雇用者は、社会福祉や環境保全に良い影響をもたらすことに加え、誠実で透明性の高い組織を好むようになっています。

この授業では、社会的責任と持続可能な経営の観点から、最新のビジネス環境について批判的に考え、分析することを学びます。また、さまざまなビジネスの政策、イニシアチブ、施策のほか、これらがどのように会社のさまざまな機能、例えば経営、売り上げ、マーケティング、人事などに影響を与えるかについて考察し、議論を重ねていきます。4回生で卒業論文を執筆するのであれば、この3回生演習の授業で調査スキルを向上させることも目指します。その過程で学生のみなさんが研究課題を発見できるよう指導します。みなさんがさまざまな国際情勢に照らして問題を見つめること、そしてどのようにしたら責任感を持ちつつも無理なくグローバル社会へ貢献できるかを見極める後押しをしたいと思っています。

個人的なアドバイスとして、学生時代に自らの競争力を高めたり、職業的価値観を磨き始めたりすることをぜひ勧めたいと思います。大学卒業後、みなさんは実社会の一員になります。組織はユニークな能力と、優れたスキルを持つ人を探しています。自分自身が、他の人と違う何を提供できるのか、そしてどのような組織が自分を雇用したいと思うのかということを考えてみてください。このように自分を常に評価し、競争力に磨きをかけ、活用し続けてください。この点を念頭に置いていれば、あなたはきっと立派なCEOや、起業家、コンサルタント、多国籍企業のリーダー、あるいはあなたが目指すどんなポジションにおいても成功することでしょう。

この授業では、意思決定に関する多面的アプローチに取り組むことを求められました。そこで私たちは、自分たちの行動によってもたらされる結果がどのようにビジネスの各ステークホルダーに影響するかについてじっくりと分析しました。そしてこのアプローチを通じて、私たちはビジネスが経済的、法的な義務を果たすだけでなく、社会にも貢献するための「Win-Win」な状況を作り出す方法を学びました。この授業を通じて、理論的知識を身につけただけでなく、ビジネスのベストプラクティスへの認識を深め、私の夢であるトップレベルの経営者になること、そして企業の社会的責任の実践をサポートするコンサルティング会社を起業するための準備ができたように思います。

このような総合的な授業を通じて学業面の限界を押し広げることができただけでなく、とても多くの国の友人を作る機会にも恵まれたことで、いかなる違いも全く自然に感じられる域に達し、APUでの生活はとても充実しています。また、知識を深める一方で、学内の複数の学生団体にも所属し、多くのすばらしい仲間たちとともに活動しました。自己管理能力も上がり、将来の方向性についても自信が持てましたので、あらゆるチャンスをつかんでいきたいと思っています。しかし何よりも大切なことは、友人を持つこと、そして更なる高みに達するために互いにサポートしあうことだと学びました。なぜなら、達成感には分かち合ってこそ味わえるものだからです。

Jareef Bin Martuza (バングラデシュ)

APM3回生

COLLEGE of ASIA PACIFIC STUDIES [APS]

アジア太平洋学部 (APS)
学士 (アジア太平洋学)

アジア太平洋地域の多様な政治、経済、社会、文化等を幅広く理解した上で、言語や情報技術、調査等の様々な手段を活用して複数の異なる分野を横断的に学ぶことで世界が直面する複雑な課題を解決する力を養います。第2セメスターから第6セメスターの間に自身の学びを深める専門分野を選択します。卒業後は政府、国際機関、旅行業、メディアや多国籍企業等での活躍が期待されます。

学修分野

環境・開発

アジア太平洋地域の将来を考えるには、環境資源への理解が不可欠です。経済優先の開発が環境等の諸問題を引き起こしている今、持続可能な開発は時代の急務となっています。経済発展と環境保全の調和という観点から、各国・地域の制度や法を踏まえた持続可能な開発の方向性について考えます。

観光学

アジア太平洋地域の発展にとって重要なテーマである観光を通じた文化交流、地域・産業振興について、文化、社会、地域といった視点から学びます。さらに、観光ビジネスやサービス産業、福祉・医療の世界でも重視されているホスピタリティ(もてなし)について、理論と実践の両面から学びます。

国際関係

紛争解決・平和構築について考察を深め、複雑化する国際社会の問題解決に取り組んでいける力を養います。国際法、政治学、経済学などを幅広く理解することで、国際関係、紛争解決、平和構築などの分野で必要な批判的思考、政策志向型のアプローチを学びます。

文化・社会・メディア

アジア太平洋地域の文化・社会・メディアの学びを通じて、この地域が抱える諸問題への理解を深めます。この学修分野では、文化と情報技術に関する基礎的学習の上に、カルチュラル・スタディーズやニューメディア研究の視点からより深く探求することで、世界全体を幅広く捉える視点と社会を複眼的に捉える目を養います。



クローズアップ：文化・社会・メディア

私は、学生に研究の土台となる基礎を身に付けてもらうため、教育、歴史、宗教に焦点を当て、文化学、社会学、メディア研究などを横断する学際的なアプローチを学ぶ授業を担当しています。これらの授業を受講し、さらに学びを深めたいと興味を持った学生たちがこの文化・社会・メディアのリサーチセミナーを受講しています。

このセミナーでは、探究の精神に満ち溢れた環境を生かして、文化・社会・メディアに対する関心をさらに深め、私の指導のもと、学生自身の本格的なリサーチプロジェクトを計画していきます。私の目標は、生徒を「何をいつなぜ」どのように勉強するかを誰かに教えてもらう「学生」から「自分自身で決断する“自立した学習者”」へ成長させることです。セミナーの終わりには、自分で決めたテーマに沿った論文を制作し、発表しますので、様々な職業に役立つパブリック・スピーキングスキルと社会に通用する文章力を手に入れることができるのです。

セミナーで得た様々な専門分野に対する見解やスキルは、映画研究や社会学、もしくは全く異なる分野の大学院ですら選択を可能としましょう。卒業生の中には日本国外を含めて、有名な国際企業や小さな事業を展開している民間部門で役職を得た者がいます。他にもNGO、NPOや教育機関などの公共部門で活躍している学生もいますし、少数ではありますが音楽関係やメディア関連で成功を収めている者や最近では医学部に入学した者もいます。

文化・社会・メディアで学んだ卒業生の可能性は無限大です。先に述べたような輝かしい結果は、学びに適した環境で社会科学やヒューマニティの知識、高い調査スキルなどを複合的に身に付けた結果だと考えています。私は、学生のみなさんがAPUで過ごす間に3つの重要な目標に向けて努力できるようサポートしていきます。その3つの目標とは「役立つスキルを身につけること」、「自分を大切にすることを学ぶこと」、そして「喜びを見つけること」です。自分の世界を作り上げる“Shape your world”に取り組む前に、まずそれがどのようなことなのかを一緒に考えていきましょう。

Joseph Progler 教授(アメリカ)
学位：博士(アメリカ研究学)、ニューヨーク州立大学バッファロー校

私がこのセミナーで得た最も価値のあるものは、「批判的思考力」と「論理的な文章力」です。また、研究テーマを自分で設定し、実行していく手段を理解することが、人生のより大きな目標達成につながるのだことを学びました。この経験を通じて私は、教授としてのキャリアを追求したいと思うようになったのです。教授という職業に興味を持ったのは、論文を書くことが楽しかったからという理由だけではありません。APUにおける作文の個人指導、学生スタッフとしての言語アドバイザーやティーチング・アシスタントのアルバイトも、この職業に興味を持つようになったきっかけです。アカデミックな分野でなら、自分の知識を次世代に受け継ぐことで社会貢献をしつつ、自分の興味があることに取り組むことができると思っています。

豊富な知識を持ち、極めて注意深く、また思いやりのあるProgler教授のもとで私は、社会学・人類学・メディア研究の知識を得るだけでなく、細部まで観察しながらも全体を見るという考え方を学ぶことができました。Progler教授は勉強だけでなく、度々人生において大切なことも教えてくれました。例えば、どのように自分を大切にしながらも他人にも気を配るかということです。教授のご指導のおかげで、責任感のある人間へ成長できたことを嬉しく思います。

学部で学ぶ4年間は、自分の将来を決定付ける人生の重要な過渡期だと言えます。みなさんが最終的にどのような選択をしても、その選択肢が必ず自分の役に立つと考え、素晴らしいものとなるように努力してください。

Hong Ngoc Doan (ベトナム)
APS4回生



CONNECTED BY LANGUAGE

世界をつなぐ言語教育

国籍や文化等を異にする者たちが理解し合う上で重要なことは互いにコミュニケーションを図ることです。母国でも日本でも第三国でも役に立つ新たな言語をAPUの授業で身に付けてください。

多言語を操れるようになるために言語学習には特に力を入れてきた私は、APUへの入学が決まり、日本語を学ぶ機会を得た時にも何のためらいもありませんでした。私にとって日本語は、難しいというよりは異なるといった方がしっくりきます。日本語にそれまで触れることのなかった私は、まずオリエンテーション期間中にAPハウスで行われたひらがなとカタカナの講座に参加し、授業では日本語初級I・II・IIIと日本語中級を受講しました。授業はとても大変ですが、これまで学んできた言語との大きな相違に早い時期に気づいた上で、学ぶことができました。また、別府でアルバイトをしたことも助けになりました。日本語話者じゃない環境に身を置き、必然的に授業で学んだ日本語を使わなければならず、さながら語学留学のようです。これまで覚えてきた日本語の中で好きな言葉は「わかりました」で

可能性を広げる

コミュニケーションの手段の一つである言語を習得するためにAPUでは日本語で専門分野を学ぶだけでなく、英語を初級から上級まで学生個人の習得状況にあわせたクラス編成により履修できます(英語基準学生として入学をした学生は日本語を習得状況にあわせて履修します)。

バイリンガルからマルチリンガルへ

英語または日本語に加えてもう一言語の習得をめざす学生を対象として、アジア太平洋言語科目(中国語、韓国語、マレー語・インドネシア語、スペイン語、タイ語及びベトナム語)を開講しています。

言語の一步先へ

英語圏及びアジア太平洋言語圏の大学で行われる短期集中語学研修に参加する言語イメージングプログラムでは、習得をめざす言語が日常的に使われる環境に身を置くことで運用能力の向上を図ります。

す。日本語の単語ですら理解できなかった私ですが、言われたことをきちんと理解した上で言える「わかりました」はとても気持ちが良いものです。日本語を学ぶことは確実にみなさんの力の向上につながるので、ミスを恐れず頑張ってください。

Karlton W. Kaunga (ケニア)
APM3回生

SUBJECT LIST

講義・科目一覧

以下の科目は2017年4月以降の入学者向けの内容です。それ以前の入学者はこれまでのカリキュラムが適用されます。

共通教育科目

APMブリッジプログラム APSブリッジプログラム GIS入門 アジア太平洋の経済 アジア太平洋の言語 アジア太平洋の宗教 アジア太平洋の地理 アジア太平洋の文化と社会 アジア太平洋の歴史 異文化間コミュニケーション入門 異文化フィールドワークI-II インターネット技術統合 インターネット入門 インターンシップ	ウェルネス 海外学習デザイン 開発学入門 華道 環境科学 環境学入門 観光学入門 キャリアデザインI・IV 経済学入門 国際関係論入門 コンピュータリテラシー 茶道 心理学 スタディスキル・アカデミックライティング	政治学入門 生命倫理 多文化協働ワークショップ 多文化比較論 データベースシステム データマイニング 統計学 特殊講義(ICT) 特殊講義(共通教育科目) 特殊講義(日本学) 日本国憲法 日本の経済 日本の地理 日本の伝統芸能	日本の文化と社会 日本の歴史 ネゴシエーションスキル ピアリーダートレーニングI-IIA-IIIB ピアリーダートレーニング入門 プログラミング 文化・社会学入門 平和・セーフティ・民主主義 法学 ボランティア研究 メディア制作ラボ メディア入門 ロジカルシンキングとフレームワーク
--	--	--	---

言語教育科目

日本語 キャリア日本語 講義の日本語 日本語(初級・中級・中上級・上級) 日本語・日本社会 日本語・日本文化 日本語ビジネスコミュニケーションA-B 日本語プロジェクトA-B・C・D・E・F	英語 英語(初級・準中級・中級・準上級・上級) 英語多読 英語ディスカッションとディベート 英語ビジネスプレゼンテーション 英語ビジネスライティング 英語プロジェクト1-2 ジャーナリズムのための英語 ビジネス英語1-2 メディアのなかの英語	AP言語 韓国語I・IV スペイン語I・IV タイ語I・IV 中国語I・IV ベトナム語I・IV マレー語・インドネシア語I・IV 特定講義 TESOL アジア太平洋言語入門	英語検定試験対策講座I・III 海外集中言語研修 国連公用語概論I・フランス語 国連公用語概論II・ロシア語 国連公用語概論III・アラビア語 特殊講義(言語教育科目) 日本語教育のための日本語学 日本語教授法
--	--	--	--

APM専門科目

必修科目 会计学I 基礎数学 金融論 グローバルマネジメント(Capstone) 経営学入門 上級数学 人材と組織行動のマネジメント 生産管理論 ビジネスエシックス ビジネス法務戦略 マーケティング入門 経営戦略と組織(SMO) アントレプレナーシップ 経営戦略と組織 特殊講義 経営戦略論 国際取引 国際物流論 サービスマネジメント サプライチェーン・マネジメント 人材マネジメント(上級)	組織行動論(上級) ファミリービジネス ブランドマネジメント 会計・ファイナンス(AF) 会計 特殊講義 会计学II 監査 管理会計論 金融市場と金融制度 原価会計 コーポレート・ファイナンス 国際会計 国際金融論 財務会計論I-II 上級会計 投資・証券分析 投資戦略 ファイナンス 特殊講義	イノベーション・経済学(IE) マクロ経済学 ミクロ経済学 アントレプレナーシップ 製品開発論 技術経営 オペレーションズ・リサーチ イノベーション 特殊講義 アジア経済論 国際経済学 国際政治経済学 開発経済学 経済学 特殊講義 マーケティング(M) Eコマース 国際物流論 国際マーケティング論 サービスマネジメント サプライチェーン・マネジメント 消費者行動論 製品開発論	販売・プロモーションマネジメント ブランドマネジメント マーケティング 特殊講義 マーケティング・リサーチ APM共通 APMフィールド・スタディ 経営情報システム ソーシャルアントレプレナーシップ 特殊講義(専門教育科目) ビジネスインターンシップ ビジネスケース分析・コミュニケーション ビジネスデータ分析 プロジェクト研究 演習 専門演習I-II 卒業研究 卒業論文
---	--	---	--

APS専門科目

コア科目 APS入門 地域研究入門 環境・開発(ED) GISとリモートセンシング NPO/NGO研究 エコツーリズム論 開発経済学 開発社会学・人類学 開発政策 開発政治論 開発のプロジェクト・マネジメント 環境・開発 特殊講義 環境・開発 フィールド・スタディ 環境経済学 環境コミュニケーション 環境政策 環境と社会 環境モデリング 基礎演習(環境・開発) 国際機構論 国際協力論 国際経済学 コミュニティ・ベース・ツーリズム コミュニティ・開発論 産業生態学 資源マネジメント 生物多様性 地球環境問題 都市環境と開発 紛争と開発	文化・社会・メディア(CSM) NPO/NGO研究 アイデンティティと政治 エスニシティと国民国家 カルチュラル・スタディーズ 基礎演習(文化・社会・メディア) 教育と社会 グローバリゼーションと規範 グローバル・ヒストリー グローバリ化と地域主義 グローバルメディアと紛争 言語と社会 国際社会学 ジェンダー研究 社会階層論 社会心理学 社会理論 宗教と信仰 人文学と近代 組織社会学 多文化社会論 日本の対外関係史 文化・社会・メディアと社会 文化・社会・メディア 特殊講義 文化・社会・メディア フィールド・スタディ 文化人類学 メディアと政治 メディアと文化 メディアと法 メディアと歴史 観光学(HT) MICE産業論 遺産観光論 イベントマネジメント エコツーリズム論	オペレーションズ・リサーチ 開発のプロジェクト・マネジメント 観光・ホスピタリティと法 観光開発と計画 観光学 特殊講義 観光学 フィールド・スタディ 観光経済学 観光とマーケティングとマネジメント 観光とソーシャルメディア 観光文化論と観光史 基礎演習(観光学) 健康とウェルネス・ツーリズム コミュニティ・ベース・ツーリズム 人材マネジメント(上級) 組織行動論(上級) 農業遺産とツーリズム 文化人類学 ホスピタリティ・マーケティング ホスピタリティ・マネジメント リゾート開発 旅行産業論 国際関係(IRP) アイデンティティと政治 アジア太平洋地域システム論 アジア太平洋における国際関係 アジア太平洋の比較政治経済 エスニシティと国民国家 開発政策 開発政治論 基礎演習(国際関係) グローバリゼーションと規範 グローバリ化と地域主義 グローバルメディアと紛争 国際関係 特殊講義	国際関係 フィールド・スタディ 国際関係理論 国際機構論 国際協力論 国際政治経済学 国際政治史 国際紛争解決 国際法 国際問題と政策 人権論 政治理論 戦略分析と意思決定 日本の外交政策 日本の対外関係史 紛争と開発 平和学 暴力とテロリズム メディアと政治 冷戦後の紛争と地政学 APS共通 APSフィールド・スタディ 地域研究 特殊講義(専門教育科目) プロジェクト研究 演習 専門演習I-II 卒業研究I-II 調査研究入門
---	--	---	---

BROADEN YOUR HORIZONS

視野を広げる

世界で学ぶという選択肢

APUが学生交換協定を締結している国内外の大学へ、学習目的に合わせて1年または半年間の留学ができます。また、授業料減免は留学中にも継続されるため安心です。

交換留学は私にとって大変貴重な経験となりました。多くの学生が1セメスターの留学をしている中で、私は1年間の留学を決断したことは、本当によい選択だったと思っています。現在、私はイギリスのUniversity of Hertfordshireで勉強しており、主にメディアやフランス語を学んでいます。また、学内では音楽クラブの活動もしています。ほとんどのメディアの授業は、理論と実践との組み合わせのためAPUで学んだことがとても活かされています。ここに来て感じたことは、APUではアジア太平洋地域に焦点を当てるが多かったのですが、こちらでの話題はもっぱら西洋が中心です。

私は、兵役や社会経験がありますが、人は必ずしも年齢を重ねれば成長するとは限らないと思っています。日々精進し、学び続けることが必要だと思います。私も日々の学びを続けているので一人で何でもできるとい

4年間で2つの学位を取得

APUでの2年間の学びに加えて、セント・エドワーズ大学(アメリカ)もしくはザルツブルク応用科学大学(オーストリア)へ2年間留学することで、両方の大学の学位を取得し、卒業することができるプログラムを実施しています。

う自信はあるものの、やはり友達がいればよりよい成果が出ることは明らかです。APUとイギリスでの学習を通して、視野が広く持てるようになり、本当に大切なものは何かが分かったような気がします。

国際的な経験がしたいのであればAPUはうってつけの場所です。そして、APUで満足した学生生活を過ごしたいのであれば、人生の経験を積むために自分の殻を破り、多くのチャンスを掴みとることが大切です。これを実現するためには、ぜひ交換留学することをお勧めします。

Victor Tou(シンガポール)
APS3回生

交換留学協定校一覧

アフリカ

ケニア
ユナイテッド・ステーツ・インターナショナル大学
アフリカ校
ボツワナ
ボツワナ大学
モロッコ
ラバト国際大学

アジア

インドネシア
インドネシア大学
ガジャマダ大学
バラヒヤンガン・カトリック大学
ビヌス大学
プレジデント大学

韓国

蔚山大学
慶熙大学
国民大学
高麗大学
淑明女子大学
西江大学
東西大学
漢陽大学
釜山国立大学
延世大学
梨花女子大学

キルギス

中央アジア・アメリカン大学
シンガポール
シンガポール・マネジメント大学

タイ

タマサート大学
マヒドーン大学
台湾
元智大学
国立政治大学
国立台湾師範大学

淡江大学

東海大学

逢甲大学

中国

IFTマカオ
香港大学
香港科技大学
香港樹仁大学
香港城市大学
香港中文大学
香港理工大学
北京師範大学-香港浸会大学聯合国際学院
マカオ大学

日本

大分大学
国際教養大学
立命館大学
フィリピン
アテネオ・デ・マニラ大学
デラ・サール大学
フィリピン大学
ブルネイ
ブルネイダルサラーム大学
マレーシア
テイラーズ大学
マラヤ大学
マレーシア科学大学

ヨーロッパ

アイスランド
アイスランド大学
アゼルバイジャン
ADA大学
イギリス
オックスフォード・ブルックス大学
カーディフ大学
ケント大学
ハートフォードシャー大学
レスター大学
イタリア
サクロクオーレカトリック大学
ベネチア大学
ボッコーニ大学
オーストリア
インスブルック・マネジメントセンター
ウィーン応用科学大学
ザルツブルク応用科学大学
スタイヤ・スクール・オブ・マネジメント
オランダ
ティルバーク大学
ハーグ応用科学大学
ライデン大学
ギリシャ
ギリシャ・アメリカン大学
クロアチア
ザグレブ経済経営大学
スイス
チューリッヒ応用科学大学
スウェーデン
セーデルテルン大学
ハルムスタッド大学
リンネ大学
ルンド大学
スペイン
IE大学
アリカンテ大学
ロビライ・ヴィルヒリ大学
デンマーク
オーフス・スクール・オブ・ビジネス
コペンハーゲン商科大学
コペンハーゲン大学
ドイツ
SRHハイデルベルク大学
カール学院国際大学
ツェッペリン大学
ハインリッヒ・ハイネ大学
ホーエンハイム大学
マクテブルク大学
ヨーロッパ大学フェアドリーナ、フランクフルト(オデール)
トルコ
イスタンブール商科大学
ノルウェー
アグダー大学
ノルウェー科学技術大学
ビーアイ・ノルウェー・ビジネススクール
ベルゲン大学
ハンガリー
ベチュ大学
フィンランド
タンペレ応用科学大学
ヘルシンキ大学
ローリア応用科学大学
フランス
ESC AMIENS
ESSCA
ネオマ・ビジネス・スクール
バリ経営大学

レンヌ・ビジネス・スクール

ベルギー
ヴェサリウス大学
リエージュ大学
ポーランド
ワルシャワ経済大学
ポルトガル
リスボン大学インスティテュートISCETE
ビジネス・スクール
リトアニア
ピリニウス大学
ルーマニア
ルーマニア・アメリカ大学

北中南米

アメリカ
アメリカン大学
オールド・ドミニオン大学
オクラホマ大学
キャロルカレッジ
グランド・バレー州立大学
サンディエゴ州立大学
ジェームズ・マディソン大学
ジョージア工科大学
セント・エドワーズ大学
ニュー・メキシコ大学
ニューヨーク市立大学スタテン・アイランド校
ニューヨーク州立大学バッファロー校
ハワイ大学マノア校
フロリダ国際大学
ミネソタ州立大学モアヘッド校
ワイオミング大学
アルゼンチン
アルゼンティナ・デ・ラ・エンブレサ大学
カナダ
Ecole des sciences de la gestion
Université du Quebec a Montreal
HECモントリオール
ウォータールー大学
サイモン・フレイザー大学
セント・メアリーズ大学
プリティッシュ・コロンビア大学
ヨーク大学シュリービスクールオブビジネス
レスブリッジ大学
メキシコ
モンテレー工科大学
モンテレー大学

オセアニア

オーストラリア
ヴィクトリア大学
ジェームス・クック大学
チャールズスタート大学
西オーストラリア大学
ラトロブ大学
サモア
サモア大学



A CAMPUS ≡ NO OTHER

ここでしか経験できない日々

言語や文化、価値観等が異なる世界90の国・地域から集まった学生が共に学び、生活するAPUのキャンパスでは、目に飛び込み、耳に聞こえてくるものがこれまでの日常とは全く異なる新たな経験となります。学生たちはこのユニークな環境で様々な課外活動に取り組むことで協調性や主体性を身に付けるとともに貴重な友情を築いています。



マルチカルチュラル・ウィーク

各国・地域の伝統芸術や生活文化を互いにより理解するために、さまざまな国・地域の学生が一体となって「マルチカルチュラル・ウィーク」というイベントを作りあげ、その過程で母国への誇りや他国への尊敬の念を育み、相互理解力・課題遂行力・自主性・協働性といったグローバル人材に求められる力を自然と身につけていきます。

2016年度マルチカルチュラル・ウィーク一覧 (50音順)

インドネシアウィーク
ウズベキスタンウィーク
エンパワメントウィーク
オセアニアウィーク
沖縄ウィーク
韓国ウィーク
スリランカウィーク
タイウィーク
台湾文化ウィーク

中国ウィーク
ネパールウィーク
バングラデシュウィーク
ファッションウィーク
フィリピンウィーク
ベトナムウィーク



クラブ・サークル一覧 (50音順)

アニメーション研究会
海外教育ボランティア“PRENGO”
合唱“Musy Tone”
グローバルビジネスリーダー
シンビオ
男女ラクロス部
ハビタットAPU
フェアトレード“Ones1”
よさこい“よっしゃ虎威”

ラグビー部
和太鼓“楽”
APU空手部
APUサッカー部
APU茶道部
APUヨット部“KrewS”
APU Debate Society
International Relations Student Association
KポップダンスK-Muse

YOUR HOME AWAY FROM HOME

開放的な環境で充実の学生生活

星空を望む天空のキャンパス

APUのキャンパスが立地する海拔約330メートルの丘の上からは、美しい別府湾や山々を一望することができます。そこには現代的な建物に静穏な学習室、フィットネスルーム、キャンパスに隣接する学生寮など、学生が共に学び、生活し、深い絆を築くのに最適な環境が用意されています。

学内施設・設備

- ・食堂、カフェ、購買、和室、会議室、音楽・ダンススタジオ
- ・ミレニアムホール
- ・図書館、メディアセンター
- ・体育館、フィットネスルーム
- ・テニスコート、多目的グラウンド
- ・屋外バスケットボールコート
- ・ヘルスクリニック・カウンセリングルーム
- ・屋外ステージ
- ・移動販売
- ・ATM
- ・郵便 など

先輩学生による支援

APUでは、教職員からの支援はもちろん、意欲ある先輩学生による支援体制が整っているため、入学初日からスムーズに環境へ馴染むことができます。オリエンテーション、課外活動、日々の学修、就職活動など、支援の輪はキャンパス中に広がっています。

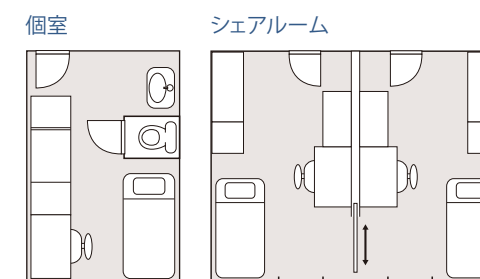


異文化理解が日常になる学生寮

学生寮APハウスは、世界中から集まった仲間たちと日常生活を通じて世界の文化や言語を互いに学べる他には類のない学生寮です。さらに各階に居住するRA (Resident Assistant) が日本で生活していく上で必要な習慣やルールを教えてくれるため、日本での新生活を始めるのに最適な環境です。

居室の間取り

個室とシェアの2種類のタイプの居室を用意しています。シェアタイプでは原則として日本人学生がルームメイトとなるため入寮初日から国際的な環境に身を置くことができます。また、居室内のドアを閉めることでプライバシーの確保も可能です。



AP HOUSE STATISTICS

APハウスの統計情報

100% 国際学生の入寮(1年間)

378 シェアルーム数

932 個室数

1,127 入居者数

60.1% 入居者における国際学生の割合

52 入居する学生の国籍数

44 共同キッチン数

39,000 円 寮費(月額)*

※「留学」以外の在留資格を持つ者の寮費は月額49,000円です。
※費用は変更になる可能性があります

0 円 洗濯・乾燥費

0 円 インターネット料金

AP HOUSE FACILITIES

APハウスの設備

- ・シャワーブース
- ・共同浴場
- ・コンピュータールーム
- ・学習室
- ・購買
- ・24時間警備
- ・ビリヤード等の娯楽設備
- ・バスケットボールコート
- ・空調



SETTLING IN

心から落ち着ける街

留学に適した国、日本

世界第3位の経済大国である日本は、世界的にも美しい景色や豊かな伝統・現代文化で知られています。また、最先端の技術力を持ち、世界で最も安全な国としても知られており、安心して学習に集中できます。

国際観光文化都市、別府

日本列島の南に位置する九州の「別府」にAPUがあります。別府は美しい山々や海に囲まれた自然豊かな土地にあり、日本の古き良き伝統と現代文化が共存する魅力的な街です。世界第1位の源泉数、第2位の湯量を誇る温泉地としても有名で、国内外から多くの観光客が集う日本でも有数の観光地となっています。また、別府は国内外のその他の都市と比較しても安全で、生活費を安く抑えることができるため、留学には最適な環境です。

街での暮らし

2回生になりAPハウスを退寮した後は別府市内のマンション等に入居します。国際学生の中には友人とルームシェアをすることで家賃を安価に抑えたり、語学力を大きく向上させたりと生活スタイルは様々です。また、市内にはショッピングモールやカフェ、カラオケ、ボーリングや世界各国のレストランなどがあり便利です。なお、住居探しの際には学校法人立命館が設立した株式会社クレオテックによる紹介・斡旋等のサポートを利用できるので安心です。

日常生活が学びの場

日本では「資格外活動許可証」を取得することで、授業期間中は週28時間（長期休暇中は週40時間）まで働くことができます。アルバイトでは収入を得られるだけでなく、日本企業のサービスやもてなしの精神を学ぶこともできます。ただし、学生である以上はアルバイトを優先しないように注意が必要です。なお、学内でのアルバイトの多くは日本語を必要とはしませんが、学外では会話ができる程度の日本語力は必要です。

健康的な学生生活

清潔で安全な飲料水、新鮮な空気、木々や花が綺麗な公園、体育館やプールなどの運動施設に加え、病院等の医療施設も充実しているため健康的な生活を送ることができます。また、怪我や病気をした際にもAPUの入学者は国民健康保険に加入するため治療費は30%の負担で済みます。

BEPPU AT A GLANCE

数字で見る別府市

119,741 別府市人口

4,147 外国人人口

2,217 源泉数

日本第1位、世界第2位の
温泉湧出量

1,374m 別府で最も高い山：
鶴見岳

AVERAGE TEMPERATURE

年間平均気温：

1月 5℃ / 41°F	4月 14℃ / 57°F
-----------------	------------------

7月 28℃ / 82°F	10月 20℃ / 68°F
------------------	-------------------

POPULAR LOCAL FOOD

地元で人気の食事

- ・とり天（鶏のてんぷら）
- ・地獄蒸し（温泉の蒸気による蒸し料理）
- ・しいたけ

CREATING A BRIGHTER TOMORROW

世界へと踏み出す時

理想の将来を描く

APUではキャリア・オフィスが希望の進路を実現するために必要な様々なサポートを行っています。グローバル化した社会で生き抜くために必要な言語運用能力や知識を身に付け、様々な経験を積んだAPUの学生たちの就職内定率は91.6%と高く、主な進路は製造業や商社、国際機関など非常に多様です。

インターンシップ

産学官連携による重要な人材育成プログラムの1つであるAPUインターンシッププログラムでは、企業や自治体などで実務に挑み、仕事への理解を深めることでキャリアビジョンを明確にしていきます。また、本学と企業・団体が協定を結んでいる「協定型」では、一定条件を満たせば単位として認定されます。

各界の専門家に学ぶ

グローバル企業の経営者や各界のリーダー・著名人をAPUの学内セミナーの講師として招き、複雑化する社会が抱える問題や将来への展望などを大局的な視点から講演いただきます。

人生の岐路に立つ

通常、日本で就職をするためには企業・団体の本社等で行われる選考会に出席する必要があります。しかし、APUには国内外から年間350社以上の企業・団体が学生を採用するために来学し、会社説明会や筆記試験、面接といった採用の一連をキャンパスで実施しているため、大学にいながらにして企業を知ることができます。また、世界中の大学院や全ての講義を英語で開講するAPU大学院への進学を志す学生も少なくありません。

主な内定先企業（2015年度）

アクセンチュア株式会社
Apple Japan 合同会社
アデコ株式会社
株式会社NTTドコモ
株式会社荏原製作所
九州旅客鉄道株式会社
グーグル株式会社
株式会社神戸製鋼所
JTB Pte. Ltd.
住友生命保険相互会社

新日鐵住金株式会社
株式会社商船三井
石油資源開発株式会社
株式会社セブテーニ・ホールディングス
全日本空輸株式会社
デル株式会社
豊田通商株式会社
日産自動車株式会社
日通商事株式会社
日本航空株式会社

日本航空電子工業株式会社
日本電気株式会社
株式会社バンダイナムコゲームス
株式会社日立ハイテクサイエンス
富士通株式会社
株式会社星野リゾート・マネジメント
株式会社みずほフィナンシャルグループ
三井化学株式会社
株式会社りそな銀行
ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社

主な進学先大学院（国・地域による50音順）

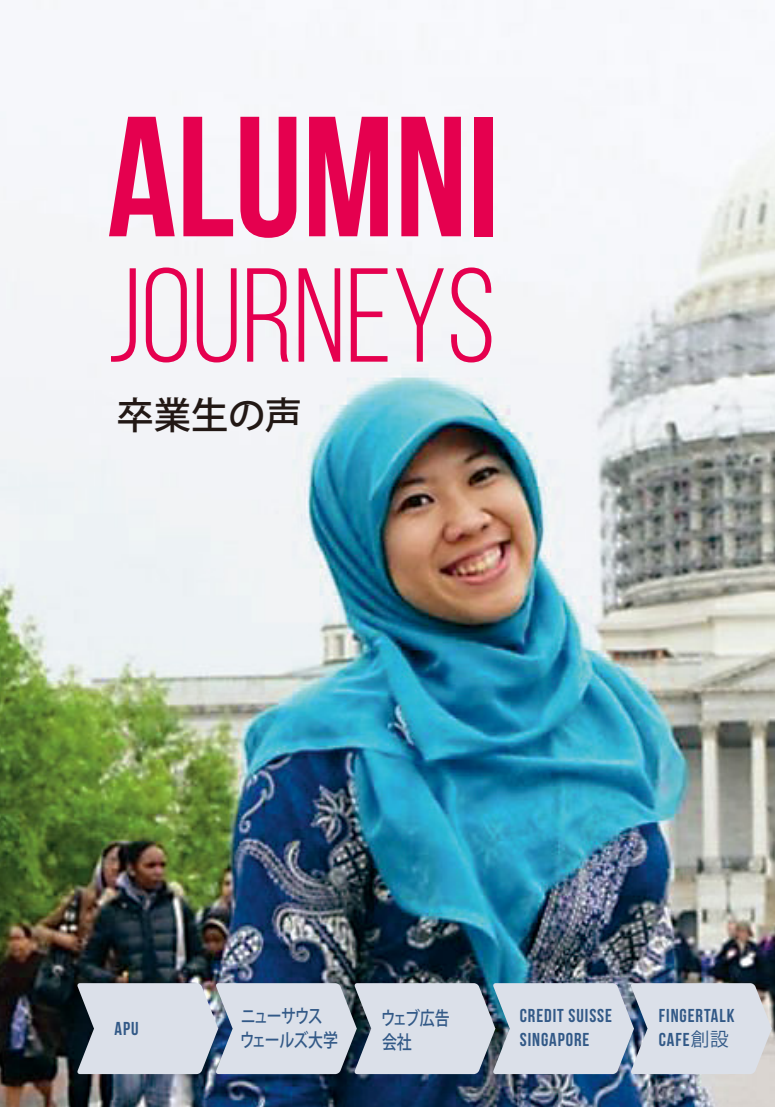
ケース・ウェスタン・リザーブ大学大学院（アメリカ）
ジョンズ・ホプキンス大学大学院（アメリカ）
デュレーン大学大学院（アメリカ）
ミシガン大学大学院（アメリカ）
グラスゴー大学大学院（イギリス）
バース大学大学院（イギリス）
バーミンガム大学大学院（イギリス）
ランカスター大学大学院（イギリス）
ロンドン・カレッジ・オブ・ファッション（イギリス）
オーストラリア国立大学大学院（オーストラリア）
シドニー大学大学院（オーストラリア）

メルボルン大学大学院（オーストラリア）
ティルブルフ大学大学院（オランダ）
カールトン大学大学院（カナダ）
サイモン・フレイザー大学大学院（カナダ）
国際・開発研究大学院（スイス）
アサンプション大学大学院（タイ）
香港城市大学大学院（中国）
香港中文大学大学院（中国）
コペンハーゲン・ビジネス・スクール（デンマーク）
トリア専門単科大学応用マテリアル・フロー・マネジメント研究所（ドイツ）

フリードリヒ・アレクサンダー大学
エアランゲン=ニュルンベルク（ドイツ）
京都大学大学院（日本）
慶應義塾大学大学院（日本）
上智大学大学院（日本）
東京大学大学院（日本）
名古屋大学大学院（日本）
明治大学大学院（日本）
早稲田大学大学院（日本）
ヴィクトリア大学ウェリントン（ニュージーランド）

ALUMNI JOURNEYS

卒業生の声



APU卒業後、私はオーストラリアのシドニーにあるニューサウスウェールズ大学の会計修士（専門職）課程に進みました。修士課程修了後は東京に戻り、1年間のウェブ広告会社勤務を経てニカラグアでボランティア活動に従事しました。ニカラグアのグラナダ市での3ヶ月間の滞在では、耳の不自由な方がスタッフとして働くカフェに出会い、とても印象深い経験をしました。

Credit Suisse Singapore社の株式アナリストとして働くために、私はシンガポールに渡りました。しかし、ニカラグアでのカフェの経験を経て、私は障がい者に収入を得る機会を提供するためのビジネスをはじめ、この実現に向けて動きはじめました。2015年にはFingertalk Cafeを開業し、いよいよ夢を実現しました。このカフェはインドネシアのタンゲランに位置し、耳の不自由な方を雇用することはもとより、お客様に手話を学んでいただく機会も提供しています。最近ではCredit Suisse Singapore社を退職してこの夢に全力で取り組んでおり、現在ではカフェを2店舗に拡大し、クラフトワークショップや洗車サービスの提供をはじめ、今後はより一層事業を拡大していくことを計画しています。

APUは私に求められる様々な専門的な役割に活かすことができる多くの有益な知識を提供してくれました。日本語を話す能力はCredit Suisse社において日本のクライアントと仕事をする際にアドバンテージとなり、APMで学んだことは現在のFingertalk Cafeの創設者としての役割に特に有益でした。効果的なチームマネジメント、ファイナンシャルレポート、資金調達などの基礎を学ぶためにAPUで受講した授業には特に感謝をしています。さらに、APUの多文化環境は文化の違いに適応し柔軟性を持たせることを私に教えてくれました。私の場合、これには「ろう文化」も含まれており、これは成功するために私が理解しなければならないもう一つの文化です。

Dissa Syakina Ahdanisa (インドネシア)

APM 2010年卒業
居住地:インドネシア

APU ニューサウスウェールズ大学 ウェブ広告会社 CREDIT SUISSE SINGAPORE FINGERTALK CAFE創設



APUで得ることのできる最も価値あるものは、人生を通して付き合える仲間たちです。私が寮に住んでいた頃は、よく友人たちと一緒に真夜中の大学へ夜空を眺めに繰り出しました。夜空に輝く星は本当に綺麗で、別府湾の夜景は目を見張るものでした。

私は世界各国の学生たちと一緒に生活することで、異なる文化や価値観に対する理解を深めることができました。そして、国家間の紛争や関係性の多くは、一般的に互いの認識と意思疎通から理由なく生み出されているものであると気づかせてくれました。この気づきによって、私は、国際関係の仕組みをもっと勉強したいと思うようになりました。APUでの4年間の生活を終えた後、ベルギーの欧州議会での就業訓練に参加し、その後はイギリスのオックスフォード大学でグローバル・ガバナンスと外交の修士を取得。そして、2017年春からは日本の立命館大学で博士課程に通っています。

APUでは自分自身と私たちが住んでいる世界についてたくさんのことを教えてくれました。また、自分のキャリアをじっくりと考える貴重な時間を過ごしました。APUでの楽しい日々は人生で一度きりしかなく、一瞬で過ぎ去ります。みなさんが専門分野や日本語の学習、多様な環境へ適応するのに苦労したとしても、APUではきっと助けとなる人とすぐに出会えるはず。そしてやがて彼らは、共に寒空の流れ星を探しにいくかけがえのない親友となることでしょう。

Anderi Malai (ドイツ)

APS 2014年卒業
居住地:日本

APU 欧州議会での就業訓練 オックスフォード大学 立命館大学

私はAPUを卒業後、短期間ではありますが東京にある日本のマーケティング企業とアウトソーシング企業で働いた後、現在はBloomberg Newsで働いています。現在の会社では、ニュースデータの編集者として、日本やその他アジアのマーケットにおける経済指標、エネルギー、先物取引を担当しており、政府や民間の両部門における財政の専門家、経済のプロ、政策担当者からなるグローバルな聴衆向けのニュースや指標、チャートを発表しています。私の目標は、一流の作家とジャーナリストになって、いつの日か自分の本を出版することです。また、自分自身でプロジェクトを立ち上げて、それを収益創出型のベンチャービジネスにしたいと考えています。すでに日本に住む外国人の様々な話を集め、日本社会における多様性の受容促進を目的とした「Tokyo Interlopers」というメディアプロジェクトに取り組み始めています。

APUで学んだ会計やビジネスの基礎は現在の仕事でも活かしています。また、APUで国際学生と交流することで得られた異文化コミュニケーションスキルを実践するようにしていますし、私の日本語能力や文化的知識は、同僚や顧客と接する時に役立っています。私のキャリアがスタートしたときに、もしこれらのスキルがなかったら日本の会社環境に適応することは困難であったといえるほど重要なものでした。

私から皆さんには、「自分自身が最高に楽しく継続できると思えるものを見つけてください」ということを伝えたいと思います。ただ指示を待つだけでは、成長することはできませんので、自ら進んで行動できる人となってください。そして、いつも主体性を持ってあなた自身で未来を切り拓いてください。

Isaac Aquino (フィリピン)

APM 2007年卒業
居住地:日本



APU マーケティング企業 アウトソーシング企業 BLOOMBERG NEWS

APU卒業後は、東京のITソリューションの会社で3年間働きました。その後2011年にはモンゴルでABicoLLCというモンゴル市場に日本の日用品を紹介する会社を設立するために帰国しました。また、Meets Japan LLCというモンゴル初の日本の百貨店のような店を2016年に開業し、今ではモンゴルに8つの店舗を展開しています。日本製品を通してモンゴルに新しい価値とくらしの提案をすることにとってもやりがいを感じています。

代表取締役として2つの会社を経営することは大変な責任がありますが、この挑戦に必要な複数の仕事をこなすことやチームワーク、他者を尊敬すること、自分を信じることなどの知識、スキルはどれもAPUで培ったものです。特に印象的だったのは、一人で達成できることは限られていることがわかったと同時に、みんなで力を合わせればより成長できることがわかったことです。自分自身の会社でもこの理念を大事にしており、ABicoという会社の名前は「一緒に成長しよう」というモンゴルの言葉です。私は、1人でも多くの人に個人としても専門家としても成長ができる機会を提供していきたいと思っており、それは社会全体を良い方向に導くと信じています。

APUで育んだ友情やネットワークなしでは、今の自分はなかったと言っても過言ではありません。APUで過ごす一瞬一瞬を大切にしてください。日々、学びと成長の機会があり、それはあなたの未来を照らす道標となるでしょう。

Tesend Uugantsetseg (モンゴル)

APU 2008年卒業
居住地:モンゴル



APU ITソリューション企業 ABICO LLC 起業 MEETS JAPAN LLC 共同創設

FEES AND SCHOLARSHIPS

費用・奨学金

入学1年目に必要な費用

	1回生新入学	2回生編入学・転入学	3回生編入学・転入学
標準修業年限	4年	3年	2年
入学金	130,000 円 (1,130 USドル)	130,000 円 (1,130 USドル)	130,000 円 (1,130 USドル)
授業料	1,328,000 円* (11,548 USドル)	1,412,000 円 (12,278 USドル)	1,412,000 円 (12,278 USドル)
住宅補償料・保険料	16,200 円 (141 USドル)	12,380 円 (108 USドル)	8,540 円 (74 USドル)
APハウスの入寮にかかる前納金	188,000 円 (4月入学) / 168,500 円 (9月入学) (1,635 USドル(4月入学) / 1,465 USドル(9月入学))		
APハウスの寮費 (月額)	39,000 JPY (339 USドル)	39,000 JPY (339 USドル)	39,000 JPY (339 USドル)

* 2回生～4回生までの年間授業料額は1,412,000円です。
上表に記載のUSドル表示はあくまでも参考です(1ドル115円計算)。支払いは日本円で行う必要があります。
また、上表の金額は変更されることがあります。

入学金

入学手続を行う者は合格発表日から約4週間後に設定された締切日までに入学金の納入が必要です。一旦納入された入学金は理由のいかんに関わらず返還いたしませんのでご注意ください。

授業料

第1セメスターの一部授業料(APU授業料減免の採用者は予め減額された金額)を入学手続時に納入することが必要です。また年間授業料の残額は入学後に請求されます。

住宅補償料・保険料

本学で学ぶ国際学生の日常生活における賠償責任事故に備え、国際学生全員が加入する保険の費用です。

APハウスの入寮にかかる前納金

国際学生の新入生全員が入寮する学生寮APハウスの前納金として全員が支払う必要のある費用です。
内訳は入居費(32,000円)、敷金(78,000円)、2ヶ月分(4月入学)または1.5ヶ月分(9月入学)の家賃(月額39,000円)です。

生活費

上表に記載の寮費を含めて、日本での生活には年間約90万円(約7,826USドル)が必要です。

奨学金

APUは優秀で経済的に修学困難な学生に対して4年間(標準修業年限)の修学に適用される独自の授業料減免制度(年間授業料額の30%、50%、65%、80%、100%を減免)を設けています。授業料減免の採用者は入学までに留学ビザの取得が必要です。その他、入学後に優秀な成績を修めた学生や在学中に自主活動で成果を上げた学生を対象とした奨学金制度があります。



APPLY TO APU

出願方法

<https://admissions.apu.ac.jp>

出願期間

2018年4月入学:
2017年6月5日(月)～2017年10月18日(水)
2018年9月入学:
2017年9月18日(月)～2018年3月28日(水)

日本、中国、インド、インドネシア、ウズベキスタン、韓国、タイ、ベトナムに居住する志願者には、上記日程以外の試験日程を設定しています。詳しくはアドミッションズサイトまたは入学試験要項をご確認ください。

出願資格

学歴:

1回生新入学: 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または修了見込みの者
編入学・転入学: 通常の課程による13年もしくは14年の学校教育を修了した者または修了見込みの者
※その他、出願資格の詳細は、入学試験要項をご確認ください。

言語能力の最低基準:

試験	1回生新入学	編入学・転入学
TOEFL® Test (iBT)	61	79
TOEFL® Test (PBT)	500	550
TOEIC® L&R Test *1	700	780
IELTS	5.5	6.0
英検	準1級	1級
PTE Academic	45	50

試験	1回生新入学	編入学・転入学
JLPT N1	90	100
JLPT N2	100	135
EJU(日本語)*2	220	250

*1 L&RはLISTENING & READINGの短縮形です

*2 記述を除く

※TOEIC®, TOEFL®はエデュケーション・テスト・サービス登録商標です

出願手順

- <https://admissions.apu.ac.jp>でオンライン願書を入力する
- 書類を発送する(写真や原本書類等の郵送が必要なもの全て)
- 入学検定料をクレジットカード(もしくは銀行送金)で納入する
日本国外に居住する志願者の入学検定料額: 5,000円
日本国内に居住する志願者の入学検定料額: 35,000円
- APUから面接日程の連絡が届く
- 面接試験を受ける(オンライン・電話・対面のいずれかで実施)
※日本国外在住者は、面接のために渡日する必要はありません
- 選考結果が届く(オンライン及び郵送)

選考結果には試験の可否に加えて、授業料減免の採否も記載されます。合格者は、入学手続金の納入や入学手続書類の提出を期限内に行う必要があります。入学手続を完了した合格者については、APUが在留資格認定証明書(COE)の交付申請を代理で行います。合格者は交付されたCOE及び入学許可書を居住国・地域を管轄する日本国大使館または総領事館へ提出し、留学ビザの申請を行ってください。

お問い合わせ

下記の国・地域にAPUの現地オフィス等があります。
これらの国・地域にお住まいの方は現地窓口にお問い合わせ
ください。その他の国・地域にお住まいの方は直接APUアドミ
シヨonz・オフィスにお問い合わせください。

APUアドミシヨonz・オフィス

日本国大分県別府市十字原1丁目1番

Tel: +81-977-78-1119

Fax: +81-977-78-1121

<https://admissions.apu.ac.jp>

Email: welcome@apu.ac.jp



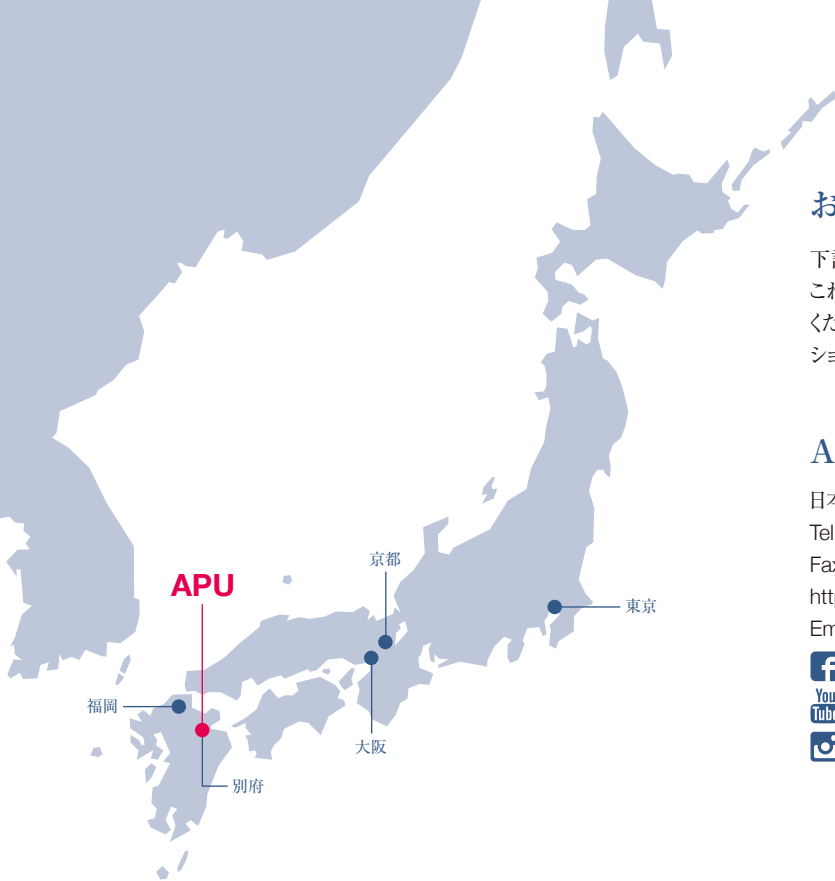
Ritsumeikan.APU



APUAdmissionsOffice



ritsumeikanapu



APU海外事務所

中国

Ritsumeikan Liaison Office – Shanghai
Jiaotong University
D, 18F Shentong Xinxi Guangchang, No. 55,
Huaihai West Rd
Shanghai City 200030, China
Tel: +86-21-6283-5104
Fax: +86-21-6283-5247
Email: apuchina@apu.ac.jp

韓国

APU Korea Office
#608, Halla Classic Officetel 6th Floor,
23 Gangnam Daero 84 Gil,
Gangnam-gu, Seoul 135-934 Korea
Tel: +82-2-564-3425/3426
Fax: +82-2-564-3427
<http://www.ritsapu-kr.com>
Email: hello@ritsapu-kr.com

ベトナム

APU Viet Nam Office
A31D11, Alley 66/1, Lane 84
Tran Thai Tong St., Cau Giay District,
Hanoi, Vietnam
Tel: +84-4-32-000-619
<http://vietnam.apu.ac.jp>
Email: vietnam@apu.ac.jp
 [apuvietnam](https://www.facebook.com/apuvietnam)

インドネシア

APU Indonesia Information Center
C/O MARQUEE, Mayapada Tower I,
11th Floor, Jl.Jend. Sudirman Kav. 28
Jakarta 12920, Indonesia
Tel: +62-21-5289-7328/7392
Email: apu-ina@apu.ac.jp
 [apuindonesiaoffice](https://www.facebook.com/apuindonesiaoffice)

タイ

APU Thailand Office
1015 Room, 10th Floor, Serm-mit Tower
159/16 Soi Asoke,
Sukhumvit 21 Road, Wattana, Bangkok
10110 Thailand
Tel/Fax: +66-2-665-7145
Email: thailand@apu.ac.jp

台湾

APU Taiwan Office
C/O MIBC, F10F., NO. 209, Sec. 1,
Civic Blvd., Datong Dist., Taipei City 103
Tel: +886-2-2181-1666
Email: taipei@apu.ac.jp
 [APUTW](https://www.facebook.com/APUTW)

連絡窓口

インド

Mr. Vishnu Vankayala
4th Floor, Vansh Building, AP-801, 1st Street,
G-Block,
10th Main Road, Anna Nagar, Chennai-040,
Tamil Nadu, India
Tel: +91-44-4352-2078
Email: s-india@apu.ac.jp

スリランカ

Mr. Harin Gunawardena
183/1, Nawala Road, Nugegoda, Sri Lanka
Tel: +94-714251314
Email: harin@apu.ac.jp